

2026年度（令和8年度） 済美中学校区 福山市立済美中学校 学校要覧



福山市立済美中学校

〒 720-0843

広島県福山市赤坂町赤坂 7267 番地 2

Tel 084-951-1009 Fax 084-951-6928

<http://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/chu-seibi>

済美中学校区小学校



福山市立津之郷小学校



福山市立赤坂小学校



福山市立瀬戸小学校

【学校教育目標】

人間性豊かに他者とかがわり、確かな学力を身に付け、夢を語り、自らの進路を切り拓く生徒の育成

【校訓】

至誠 力行 一貫

【学びづくり】

研究主題	生徒の主体的な学びを進めるファシリテート
内容等	○単元指導計画の工夫 ① 単元を貫く問いや課題設定の吟味(教材研究の充実) ② 生徒相互の学び合いの質の向上 ③ 振り返りの充実
めざす授業の姿	○一人一人が自分で考え、間違いを恐れずに意見を交わし、共に学び合っている。 ○学びを振り返り、分かったこと、考えたことを豊かに表現している。

【目標・評価項目・指標等の設定と評価(重点のみ)】

目標	短期経営目標	取組	評価項目・指標等
データ活用による学力の定着と向上	客観的なデータ分析に基づき、生徒一人ひとりの学習課題を明確化し、ICT・問題データベースの活用により「基礎学力の定着」と「自立した学習習慣」を育成する。	平日の学習時間が 30 分未満の生徒への具体的な学習支援や声掛けを強化する。英検・漢検の取組を充実させ、学習への意欲向上と、自分の成長を実感できるフィードバックを全学年で行う。授業の振り返りを充実させ、「わかる授業」を実践する。	「自分の学力の伸びを実感している」と回答する生徒の割合:70%以上。 標準学力テストの全国平均比較2回-1回+2ポイント。
個々の特性に応じた教育内容の充実	地域社会を「学びの場」として活用し、地域貢献活動を通じて生徒の社会参画意識と自己肯定感を高めるとともに、個々の特性に応じた多様な学習機会を保障する。	ボランティア活動や地域行事への参画を推進し、生徒が地域社会に貢献する喜びを実感できる機会を学期に 2 回以上設定する。 CS と連携して地域人材を外部講師や学習支援員として招き、教室内外での多様な体験活動(キャリア教育等)を充実させる。	特別支援教育の視点を取り入れた授業改善に関する教員自己評価:80%以上。 地域に貢献していると答える生徒の割合:70%→75%
未然防止と社会的自立に向けた支援	組織的な初動対応体制を確立するとともに、集団作りを推進し、生徒の自己肯定感と学校満足度を向上させる。	「ここタン」を毎日確認し、アラートが出た生徒や肯定感が低下している生徒に対し、24 時間以内に面談等の初動対応を行う。不登校支援チームを核とし、スクールカウンセラー等の専門人材によるアセスメントを月 1 回以上実施して、生徒一人ひとりに適した学習環境等を提案する。生活習慣アンケートにおいて「自尊感情」や「学校の楽しさ」が低い傾向にある学年・学級に対し、地域貢献活動を計画・実施する。	「ここタン」による要注意アラートへの 24 時間以内の面談・声掛け実施率:100%。 相談室やフリースクール等の利用生徒における「学びの継続」実感率:90%以上
教職員が生き生きと働ける組織づくり	業務の適正化とデジタルツールの活用を推進し、教職員の心身の健康を確保することで、教育活動の質と生徒と向き合う時間を向上させる。	勤務実態データに基づき、学期末等の超過勤務を削減するための「業務量管理・健康確保措置実施計画」を実行する。生成 AI を校務(通知表所見の補助、教材作成等)に試験導入し、事務作業を効率化することで、授業準備や生徒対応の時間を確保する。「校内授業づくりメンター」や「相互授業参観」を活用した校内研修を行い、若手からベテランまでが学び合える体制を整える。	教職員の平均時間外勤務時間 45-80 時間の人数 12 人を半減させる。 「困ったときに相談できる同僚がいる」と回答する教員の割合:68%→75%以上。

<校歌>

三 タペはるかに葛城の峯に立つ星を仰ぐとき ああ我が瞳かがやきて 済美の理想えがくなり 至誠力行一貫の この大道よ我とげん この大道よ我とげん	二 尽きぬ泉の増鏡影もさやかにたたえては ああ我が心つつしみて 済美の願いかざすなり 至誠力行一貫の この大道よ我行かん この大道よ我行かん	一 朝香ぐわし松風の清き窓辺に通うとき ああ我が胸は高鳴りて 済美の意気にもゆるなり 至誠力行一貫の この大道よ我ふまん この大道よ我ふまん	福山市立済美中学校校歌 上村貞章 作詞 山本正人 作曲
--	---	---	--

<校区・学校の目標等>

【中学校区】

育成する力 (資質・能力)	○ 課題発見・解決力 ○ コミュニケーション力 ○ 他者とかかわり合う力・心
めざす子ども像	①自らの目標に向かって努力し、チャレンジしている。 ②場面や目的に応じた豊かな表現力を身につけている。 ③他者とかかわり合いながら共感的人間関係を気づき、共にによりよく生きようとしている。
校区として 統一した取組等	○「選択・決定」「対話の充実」「振り返り」をキーワードに授業づくりを進める。 ○「主体的、対話的で深い学び」のある授業づくりの研修 ○児童会・生徒会活動の活性化による規範意識と共感的人間関係の育成

【めざす子ども像】

育成する力			○課題発見・解決力 (問いを持つ ふり返る 見通す)	○コミュニケーション力 (聴く 伝える まとめる)	○他者とかかわり合う力・心 (思いやり 社会性 貢献)
めざす子ども像	中学校	1年	活動して気付いた・考えたことなどを振り返り、次の(新たな)目標や課題を見出し、次の活動につなげることができる。	自分の考えを、他者に分かりやすく(例え話の挿入、図表や絵・写真・ホワイトボードの活用、話し方や声のボリューム・トーンの工夫など)伝え、理解・納得を得ることができる。	多様な他者との多様なかかわりを通して、(時には、ぶつかりながら)それぞれの良さや違いを見出し、受け入れながら、助け合ったり、(競い合い)高め合ったりしようとしている。
		2年 3年	活動して気付いた・考えたことやその意味・価値・つながり等を振り返り、見出した次の(新たな)目標や課題を見通しを立て情報を収集・整理・活用しながら(他者を巻き込んで)解決・達成していくことができる。	自分の考えを他者に分かりやすく伝えながら、質問(反論・同意)・説得・納得等を繰り返し、考えを広げ深めるとともに、まとめたり(合意形成)、新たな発想を生み出したりすることができる。	集団(地域、学校・学年・学級等)活動における自らの役割とその目的・価値を見出し、多様な他者と認め合い・許し合い・補い合いながら、責任を果たしたり、誰かの役に立とうとしている。

<生徒数・学級編制>5月1日現在

	1 年		2 年		3 年	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1組	14	15	15	17	18	18
2組	14	14	16	16	18	18
3組	14	15	16	16	18	18
4組	14	14	16	16	19	18
5組	15	14				
知的	3	1	3	0	4	1
自・情	6	2	1	0	4	2
計	80	75	67	65	81	75
学年計	155		132		156	
総計	443					

<教職員数>

校長	教頭	事務長(兼)	教諭	養護教諭	事務	計
1	1	1	27	1	1	
非常勤講師	スクール・サポートスタッフ	介助員	学校支援員	校務補助員	小中一貫図書館補助員	スクールカウンセラー
3	1	3	1	1	1	1
						43